

不況・生産調整のための

「派遣」切捨て許せません！

トヨタ、日産、キャノンなどは、ここ数年過去最高の利益をあげています。しかし、不況となったらいち早く早く派遣社員や期間従業員を切る捨てるやり方に「大企業は社会的責任を果たせ！」と批判が広がっています。正社員なら簡単には解雇できません。しかし、派遣には「雇い止め」という形で簡単に契約の打ち切りを行なっています。

日立オムロンでも大量「雇い止め」の不安

ここ（HOTS）でもゆうちよ銀行向けATMの生産がほぼ終了する十一月末に「契約を切られるのでは？」との不安が広がっています。日立オムロンとして新会社を発足し、「世界のナンバーワンのATM企業」をめざし深夜にも及ぶ生産を行い、新会社は予想以上の利益をあげ発展してきました。その利益を生んできたのは多くの派遣労働者の力があってこそその成果です。忙しいときは長時間労働に追われ、閑になったら首にするのでは、働く者にとっては、社会的責任も果たせない「世界ワーストワン企業」といわれても仕方がないのではないのでしょうか。



倉庫業務ではすでに「雇い止め」を宣言

すでに倉庫の派遣の人たちには一部の派遣会社を除き、十一月末で契約終了が宣告されました。倉庫業務はUFG生産のときのゴタゴタを頑張つて解消したと思つたら（小牧）に追いやられ、ようやく（旭）に戻り、業務が安定してきたばかりです。このトラブルの中で改善に取り組んでこれたのは派遣の皆さんの頑張りがあったからです。しかし、経費節減を理由に単価を切り下げられたり、職場のパワハラもあると聞きます。長い人は5年も継続して仕事を受け持ち、正社員より業務についてはベテランぞろいですが、こうした貴重な人材を経費節減や生産調整を理由に手放してしまつるのは、目先の利益だけを追い求め、せっかく築いた城を自ら崩してしまつると同じです。また物流業務が混乱し生産に支障が出たり、生産で大量の作業不良が出たとき、いくら「反省」しても取り返しがききません。顧客の信頼を失うのも一瞬ですが、技術・技能を失うのも一瞬です。



日立製作所は「人員削減をしない」と明言

今年度第2四半期連結決算のマスコミおよび投資家・アナリスト向け説明会で会社幹部は参加者からの「派遣社員や契約社員の今後の採用はどつするの？」の質問に対し、「雇用の削減を積極的に進めるのではなく、作業量にあわせて人員配置を行つたり、正社員として採用するなど必要な対応を行なつていく」と明確に答弁。親会社・日立は度重なる「事故」の教訓は「人を大事にしてこそ技術・技能が保たれる」と考え直したのかもしれない。

日立懇・旭事業所ニュース

あさひ「掲示板」

第5号 2008.11.2発行


編集・発行元 日立懇・旭
電話：0561-54-6222

電機労働者懇談会・09年生活改善 要求アンケートにご協力ください!

今年も09春闘や労働条件向上めざして「要求アンケート」を取り組んでいます。

早くも日本経団連は、経営環境を「危機的状況」とし「減益傾向が強まる中、賃上げよりも雇用維持を重視する企業も少ない」と賃上げ抑制に動いてきています。

一方、私たち働く者の生活は相次ぐ「値上げ」で苦しめられています。安心して働くためにも、賃金の引き上げや時給の引き上げが必要です。大企業はこの間、好業績でも賃上げをしないで、正社員を派遣・請負に切り換えて「もうけ」積上げて来ました。その一部を吐き出させるためにも多くの声をアンケートで反映してください。



回答を記入してアンケート用紙の
葉書部分を切り取って
郵便ポストに投函してください。
または、お近くの「日立懇会員」
に渡してください。

職場で一緒に働いている正社員・派遣・請負・パート・管理職などすべての皆さんの声と要求を集めています。ぜひご協力お願いします。

電機懇 電話 (03)3455-6006

FAX (03)3451-3595

E-Mail denkikon@jcom.home.ne.jp

HP www.denkikon.net